

注3

大学番号：私192

[平成31年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

鈴鹿大学 国際地域学部 国際地域学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人享栄学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学・短期大学部事務局

職名・氏名 シムキョクチョウ ツツミ ヒデノリ
事務局長 堤 秀紀

電話番号 059-372-2121

（夜間） 059-372-2121

F A X 059-372-2827

e-mail tutumih@kyoeigakuen.net

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際地域学部

<国際地域学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人享栄学園

(2) 大学名

鈴鹿大学

(3) 大学の位置

〒510-0298

三重県鈴鹿市郡山町字西高山663番222

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カキオ カズヒコ) 垣尾 和彦 (平成25年4月)	(イチノ ショウジ) 市野 聖治 (平成31年4月)	任期満了 平成31年4月1日(元)
学長	(イチノ ショウジ) 市野 聖治 (平成26年4月)		
学部長	(タナカ リカ) 田中 利佳 (平成31年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
国際地域学部 国際地域学科 学士（国際学）	社会学・社会福祉学関係	4 年	120 人	10 年次 人	500 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	120 (-) [40]	(-) [-]	1.2倍	- 倍								
志願者数	() []	207 (-) [145]	(-) [-]										
受験者数	() []	201 (-) [140]	(-) [-]										
合格者数	() []	160 (-) [101]	(-) [-]										
B 入学者数	() []	144 (-) [92]	(-) [-]										
入学定員超過率 B/A									1.2				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	144 [92] (-)	- [-] (-)								
2年次	/		[] ()	- [-] (-)	- [-] (-)						
3年次			/		[] ()	- [-] (-)	- [-] (-)				
4年次	/				[] ()	- [-] (-)	- [-] (-)				
計			[] ()	144 [92] (-)							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	144 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{144} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際地域学部 国際地域学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	オーラルコミュニケーションⅠ	1前	2			2	1	1					
	オーラルコミュニケーションⅡ	1後	2			2	1	1					
	オーラルコミュニケーションⅢ	2前	2					1					
	オーラルコミュニケーションⅣ	2後	2					1					
	オーラルコミュニケーションⅤ	3前	2					1					
	オーラルコミュニケーションⅥ	3後	2					1					
	日本語講読Ⅰ	1前		2		1		1				1	
	日本語講読Ⅱ	1後		2		1		1				1	
	日本語作文Ⅰ	1前		2		1		1					
	日本語作文Ⅱ	1後		2		1		1					
	日本語会話Ⅰ	1前		2		1		1					
	日本語会話Ⅱ	1後		2		1		1					
	小計(12科目)	—	—	12	12	0	3	1	2	0	0	1	
	中国語Ⅰ	1前			2								1
	中国語Ⅱ	1後			2								1
	韓国語Ⅰ	1前			2		1						
	韓国語Ⅱ	1後			2		1						
	ポルトガル語Ⅰ	1前			2								1
	ポルトガル語Ⅱ	1後			2								1
	小計(6科目)	—	—	0	12	0	1	0	0	0	0	0	2
	リセットイングリッシュⅠ	1前			2			1					
	リセットイングリッシュⅡ	1後			2			1					
	リスニングチャレンジ	2前			2		1						
	ベーシックライティング	2後			2		1						
	ビジネス日本語Ⅰ	2前			2		1						
	ビジネス日本語Ⅱ	2後			2		1						
資格の日本語Ⅰ	2前			2			1						
資格の日本語Ⅱ	2後			2			1						
小計(8科目)	—	—	0	16	0	2	1	1	0	0	0		
コンピュータリテラシーⅠ	1前			2			1						
コンピュータリテラシーⅡ	1後			2			1						
マルチメディア演習	2前			2			1						
情報処理論	2後			2			1						
データベース論	3前			2			1						
小計(5科目)	—	—	4	6	0	0	1	0	0	0	0		
鈴鹿学	1前			2		3							
多文化理解	1前			2				1					
哲学	2前			2							2		
スポーツエクササイズⅠ	1前			2		1		1					
スポーツエクササイズⅡ	1後			2		1		1					
環境学	2後			2		1							
心理学	1前			2							1		
社会学	1前			2							1		
宗教学	2後			2							1		
日本国憲法	1後			2							1		
人権論	2前			2							1		
こころの癒しと音楽	1後			2							1		
科学と芸術の間	1後			2							1		
生物学	1前			2							1		
自然科学基礎	1後			2							1		
数理工学	2前			2							1		
小計(16科目)	—	—	0	32	0	5	0	2	0	0	10		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	オーラルコミュニケーションⅠ	1前	2			2	1	1					
	オーラルコミュニケーションⅡ	1後	2			2	1	1					
	オーラルコミュニケーションⅢ	2前	2					1					
	オーラルコミュニケーションⅣ	2後	2					1					
	オーラルコミュニケーションⅤ	3前	2					1					
	オーラルコミュニケーションⅥ	3後	2					1					
	日本語講読Ⅰ	1前		2		1		1				7	
	日本語講読Ⅱ	1後		2		1		1				7	
	日本語作文Ⅰ	1前		2		1		1				6	
	日本語作文Ⅱ	1後		2		1		1				6	
	日本語会話Ⅰ	1前		2		1		1				7	
	日本語会話Ⅱ	1後		2		1		1				7	
	小計(12科目)	—	—	12	12	0	3	2	1	0	0	7	
	中国語Ⅰ	1前			2								1
	中国語Ⅱ	1後			2								1
	韓国語Ⅰ	1前			2		1						
	韓国語Ⅱ	1後			2		1						
	ポルトガル語Ⅰ	1前			2								1
	ポルトガル語Ⅱ	1後			2								1
	小計(6科目)	—	—	0	12	0	1	0	0	0	0	0	2
	リセットイングリッシュⅠ	1前			2			1	1				
	リセットイングリッシュⅡ	1後			2				1				
	リスニングチャレンジ	2前			2		1						
	ベーシックライティング	2後			2		1						
	ビジネス日本語Ⅰ	2前			2		1						
	ビジネス日本語Ⅱ	2後			2		1						
資格の日本語Ⅰ	2前			2				1					
資格の日本語Ⅱ	2後			2				1					
小計(8科目)	—	—	0	16	0	3	2	0	0	0	0		
コンピュータリテラシーⅠ	1前			2				1					
コンピュータリテラシーⅡ	1後			2				1					
マルチメディア演習	2前			2				1					
情報処理論	2後			2				1					
データベース論	3前			2				1					
小計(5科目)	—	—	4	6	0	0	1	0	0	0	0		
鈴鹿学	1前			2		3							
多文化理解	1前			2				1				1	
哲学	2前			2							2		
スポーツエクササイズⅠ	1前			2		1		1				1	
スポーツエクササイズⅡ	1後			2		1		1				1	
環境学	2後			2		1							
心理学	1前			2							1		
社会学	1前			2							1		
宗教学	2後			2							1		
日本国憲法	1後			2							1		
人権論	2前			2							1		
こころの癒しと音楽	1後			2							1		
科学と芸術の間	1後			2							1		
生物学	1前			2							1		
自然科学基礎	1後			2							1		
数理工学	2前			2							1		
小計(16科目)	—	—	0	32	0	5	1	1	0	0	10		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	キャリア教育Ⅰ	2前	2			1					
	キャリア教育Ⅱ	2後	2			1					
	キャリア教育Ⅲ	3前	2			1					
	キャリア教育Ⅳ	3後	2			1					
	小計(4科目)		0	8	0	0	1	0	0	0	
	海外研修Ⅰ	2前	2			5					
	海外研修Ⅱ	2後	2			5					
	海外研修Ⅲ	2前	2			5					
	海外研修Ⅳ	2後	2			5					
	インターンシップⅠ	2前	1			1	1	1			
	インターンシップⅡ	2後	1			1	1	1			
	インターンシップⅢ	2前	2			1	1	1			
	インターンシップⅣ	2後	2			1	1	1			
	インターンシップⅤ	3後	2			1	1	1			
	ボランティア活動Ⅰ	1前	1			2		1			
	ボランティア活動Ⅱ	1前	1			2		1			
ボランティア活動Ⅲ	1後	1			2		1				
ボランティア活動Ⅳ	1後	1			2		1				
小計(13科目)	—	0	20	0	8	1	3	0	0		
専門科目	国際地域概論	1前	2			3					
	国際事情Ⅰ	1前	2			2					
	国際事情Ⅱ	1後	2			2					
	日本事情Ⅰ	1前	2			2					
	日本事情Ⅱ	1後	2			2					
	小計(5科目)	—	2	8	0	4	0	0	0	0	
	文化人類学Ⅰ	1前	2				1				
	文化人類学Ⅱ	1後	2				1				
	異文化コミュニケーション論Ⅰ	2前	2				1				
	異文化コミュニケーション論Ⅱ	2後	2				1				
	国際コミュニケーション論Ⅰ	2前	2			1					
	国際コミュニケーション論Ⅱ	2後	2			1					
	国際法	3前	2			1					
	政治学	3前	2			1					
	日本政治外交史	3後	2			1					
	平和学	3後	2			1					
	国際関係論	2後	2			1					
	地域研究・アジアⅠ	2前	2			1					
	地域研究・アジアⅡ	2後	2			1					
	地域研究・アジアⅢ	2前	2			2		1			
	地域研究・アメリカ	2後	2				1				
	地域研究・ヨーロッパ	2前	2			1					
	地域研究・アフリカ	2後	2			1					
	言語学	2前	2			1					
グローバルスタディ特殊講義	2前	2			1						
非言語コミュニケーション	2後	2			1						
クリエイティブ・ライティング	2前	2					1				
アカデミック・ライティング	3後	2					1				
アドバンストイングリッシュⅠ	3前	2			1						
アドバンストイングリッシュⅡ	3後	2			1						
小計(24科目)	—	0	48	0	3	1	2	0	0		
専門科目	観光概論	1前	2			1					
	観光まちづくり論	1後	2			1					
	国内旅行業務論	1前	2				1				
	観光と文化	2後	2			1					
	モータースポーツ論	2前	2			1	1				
	観光政策論	2前	2			1					
	おもてなし実践論	2後	2			1					
	世界遺産論	2前	2			1					
	ニューツーリズム論	2後	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	キャリア教育Ⅰ	2前	2				1				
	キャリア教育Ⅱ	2後	2				1				
	キャリア教育Ⅲ	3前	2				1				
	キャリア教育Ⅳ	3後	2				1				
	小計(4科目)		0	8	0	0	1	0	0	0	
	海外研修Ⅰ	2前	2			5					
	海外研修Ⅱ	2後	2			5					
	海外研修Ⅲ	2前	2			5					
	海外研修Ⅳ	2後	2			5					
	インターンシップⅠ	2前	1			1		2			
	インターンシップⅡ	2後	1			1		2			
	インターンシップⅢ	2前	2			1		2			
	インターンシップⅣ	2後	2			1		2			
	インターンシップⅤ	3後	2			1		2			
	ボランティア活動Ⅰ	1前	1			2		1			
	ボランティア活動Ⅱ	1前	1			2		1			
ボランティア活動Ⅲ	1後	1			2		1				
ボランティア活動Ⅳ	1後	1			2		1				
小計(13科目)	—	0	20	0	8	3	2	0	0		
専門科目	国際地域概論	1前	2			8	4	2			
	国際事情Ⅰ	1前	2			3	2	1			
	国際事情Ⅱ	1後	2			3					
	日本事情Ⅰ	1前	2			4	2	2			
	日本事情Ⅱ	1後	2			2	1				
	小計(5科目)	—	2	8	0	8	4	2	0	0	
	文化人類学Ⅰ	1前	2				1				
	文化人類学Ⅱ	1後	2				1				
	異文化コミュニケーション論Ⅰ	2前	2				1				
	異文化コミュニケーション論Ⅱ	2後	2				1				
	国際コミュニケーション論Ⅰ	2前	2			1					
	国際コミュニケーション論Ⅱ	2後	2			1					
	国際法	3前	2			1					
	政治学	3前	2			1					
	日本政治外交史	3後	2			1					
	平和学	3後	2			1					
	国際関係論	2後	2			1					
	地域研究・アジアⅠ	2前	2			1					
	地域研究・アジアⅡ	2後	2			1					
	地域研究・アジアⅢ	2前	2			2		1			
	地域研究・アメリカ	2後	2				1				
	地域研究・ヨーロッパ	2前	2			1					
	地域研究・アフリカ	2後	2			1					
	言語学	2前	2			1					
グローバルスタディ特殊講義	2前	2			1						
非言語コミュニケーション	2後	2			1						
クリエイティブ・ライティング	2前	2					1				
アカデミック・ライティング	3後	2					1				
アドバンストイングリッシュⅠ	3前	2			1						
アドバンストイングリッシュⅡ	3後	2			1						
小計(24科目)	—	0	48	0	3	2	1	0	0		
専門科目	観光概論	1前	2			1					
	観光まちづくり論	1後	2			1					
	国内旅行業務論	1前	2				1				
	観光と文化	2後	2			1					
	モータースポーツ論	2前	2			1	1				
	観光政策論	2前	2			1					
	おもてなし実践論	2後	2			1					
	世界遺産論	2前	2			1					
	ニューツーリズム論	2後	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
一般科目	観光サービス論	2後	2				1						
	インバウンド観光論	2前	2				1						
	文化とまちづくり	2前	2			1							
	地域福祉論	3後	2								1		
	災害と社会	3後	2			1							
	社会福祉概論	2前	2								1		
	スポーツ社会論	2後	2				1						
	体力トレーニング論	1前	2			1							
	生涯スポーツ指導論	2前	2			1							
	スポーツ心理学	2後	2			1							
	健康スポーツ演習Ⅰ	1前	2			1							
	健康スポーツ演習Ⅱ	1後	2			1							
	メディアスポーツ論	3前	2				1						
	スポーツとまちづくり	1後	2			1							
	スポーツツーリズム	3前	2				1						
	小計(24科目)	—	0	48	0	3	1	3	0	0	1		
	専門科目	地域スポーツ・マネジメント	1後	2				1					
		経営学総論	1前	2			1						
		経済学総論	1前	2				1					
		企業論	2前	2				1					
		国際経済論	2後	2				1					
		国際ビジネス英語Ⅰ	2前	2			1						
		国際ビジネス英語Ⅱ	2後	2			1						
		コミュニティ・スポーツ論	2後	2				1					
リテール・マーケティング		2後	2				1						
マーケティング論		2前	2			1							
実践ビジネス英語Ⅰ		2前	2				1						
実践ビジネス英語Ⅱ		2後	2				1						
観光ビジネス論		2前	2				1						
観光経済学		2後	2				1						
国際地域ベンチャービジネス論		2後	2				1						
国際経営論		2前	2				1						
国際経営戦略論		3後	2			1							
地域ブランド・マネジメント		3後	2			1							
ビジネスICT		3後	2				1						
国際経営管理論		3前	2				1						
ソーシャルビジネス論		3後	2				1						
スポーツ起業論		3前	2				1						
ビジネス会計		3後	2				1						
小計(23科目)		—	0	46	0	2	3	4	0	0			
専門科目	1年次演習Ⅰ	1前	2			7	4	4					
	1年次演習Ⅱ	1後	2			7	4	4					
	2年次演習Ⅰ	2前	2			7	4	4					
	2年次演習Ⅱ	2後	2			7	4	4					
	3年次演習Ⅰ	3前	2			8	4	5					
	3年次演習Ⅱ	3後	2			8	4	5					
	4年次演習・卒論Ⅰ	4前	2			8	4	4					
	4年次演習・卒論Ⅱ	4後	2			8	4	4					
	小計(8科目)	—	16	0	0	8	4	5	0	0			
合計(148科目)	—	34	256	0	10	4	6	0	0	13			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
一般科目	観光サービス論	2後	2				1						
	インバウンド観光論	2前	2				1						
	文化とまちづくり	2前	2			1							
	地域福祉論	3後	2								1		
	災害と社会	3後	2			1							
	社会福祉概論	2前	2								1		
	スポーツ社会論	2後	2				1						
	体力トレーニング論	1前	2			1							
	生涯スポーツ指導論	2前	2			1							
	スポーツ心理学	2後	2			1							
	健康スポーツ演習Ⅰ	1前	2			1							
	健康スポーツ演習Ⅱ	1後	2			1							
	メディアスポーツ論	3前	2				1						
	スポーツとまちづくり	1後	2			1							
	スポーツツーリズム	3前	2				1						
	小計(24科目)	—	0	48	0	3	2	2	0	0	1		
	専門科目	地域スポーツ・マネジメント	1後	2				1					
		経営学総論	1前	2			1						
		経済学総論	1前	2				1					
		企業論	2前	2				1					
		国際経済論	2後	2				1					
		国際ビジネス英語Ⅰ	2前	2			1						
		国際ビジネス英語Ⅱ	2後	2			1						
		コミュニティ・スポーツ論	2後	2				1					
リテール・マーケティング		2後	2				1						
マーケティング論		2前	2			1							
実践ビジネス英語Ⅰ		2前	2				1						
実践ビジネス英語Ⅱ		2後	2				1						
観光ビジネス論		2前	2				1						
観光経済学		2後	2				1						
国際地域ベンチャービジネス論		2後	2				1						
国際経営論		2前	2				1						
国際経営戦略論		3後	2			1							
地域ブランド・マネジメント		3後	2			1							
ビジネスICT		3後	2				1						
国際経営管理論		3前	2				1						
ソーシャルビジネス論		3後	2				1						
スポーツ起業論		3前	2				1						
ビジネス会計		3後	2				1						
小計(23科目)		—	0	46	0	2	4	3	0	0			
専門科目	1年次演習Ⅰ	1前	2			7	6	2					
	1年次演習Ⅱ	1後	2			7	6	2					
	2年次演習Ⅰ	2前	2			7	6	2					
	2年次演習Ⅱ	2後	2			7	6	2					
	3年次演習Ⅰ	3前	2			8	5	4					
	3年次演習Ⅱ	3後	2			8	5	4					
	4年次演習・卒論Ⅰ	4前	2			8	5	3					
	4年次演習・卒論Ⅱ	4後	2			8	5	3					
	小計(8科目)	—	16	0	0	8	6	3	0	0			
合計(148科目)	—	34	256	0	10	6	4	0	0	20			

卒業要件及び履修方法
○専門科目の所属コースから30単位以上、コース共通科目の国際地域概論2単位以上、演習科目16単位を含め、70単位以上履修すること。
○教養科目から、語学科目12単位(一般学生は、オーラルコミュニケーションⅠ、オーラルコミュニケーションⅡ、オーラルコミュニケーションⅢ、オーラルコミュニケーションⅣ、オーラルコミュニケーションⅤ、オーラルコミュニケーションⅥ/外国人留学生は、日本語講読Ⅰ、日本語講読Ⅱ、日本語作文Ⅰ、日本語作文Ⅱ、日本語会話Ⅰ、日本語会話Ⅱとする。)及びコンピュータリテラシーⅠ、コンピュータリテラシーⅡの4単位以上を含めて30単位以上履修すること。
○卒業要件単位数は、124単位以上とする。

卒業要件及び履修方法
○専門科目の所属コースから30単位以上、コース共通科目の国際地域概論2単位以上、演習科目16単位を含め、70単位以上履修すること。
○教養科目から、語学科目12単位(一般学生は、オーラルコミュニケーションⅠ、オーラルコミュニケーションⅡ、オーラルコミュニケーションⅢ、オーラルコミュニケーションⅣ、オーラルコミュニケーションⅤ、オーラルコミュニケーションⅥ/外国人留学生は、日本語講読Ⅰ、日本語講読Ⅱ、日本語作文Ⅰ、日本語作文Ⅱ、日本語会話Ⅰ、日本語会話Ⅱとする。)及びコンピュータリテラシーⅠ、コンピュータリテラシーⅡの4単位以上を含めて30単位以上履修すること。
○卒業要件単位数は、124単位以上とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

該当なし

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
17 科目	131 科目	0 科目	148 科目	17 科目 [0]	131 科目 [0]	0 科目 [0]	148 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{148} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	鈴鹿大学 鈴鹿大学短期大学部 (必要面積1,880㎡) と共用		
	校舎敷地	㎡	6,064.51㎡	㎡	6,064.51㎡			
	運動場用地	㎡	17,175.00㎡	㎡	17,175.00㎡			
	小 計	㎡	23,239.51㎡	㎡	23,239.51㎡			
	そ の 他	㎡	59,218.45㎡	㎡	59,218.45㎡			
	合 計	㎡	82,457.96㎡	㎡	82,457.96㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	鈴鹿大学 鈴鹿大学短期大学部 (必要面積3,250㎡) と共用			
	481.75㎡ (481.75㎡)	7,387.11㎡ (7,387.11㎡)	3,750.36㎡ (3,750.36㎡)	11,619.21㎡ (11,619.21㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	鈴鹿大学 鈴鹿大学短期大学部 全体		
	8室	9室	17室	3室 (補助職員 1人)	2室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			鈴鹿大学 鈴鹿大学短期大学部 全体55室		
	国際地域学部 国際地域学科		22 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	鈴鹿大学 鈴鹿大学短期大学部 全体
		[うち外国書]	[うち外国書]					
	冊	種	点	点	点			
	国際地域学部	77,884 [1,687] (77,884 [1,687])	782 [144] (782 [144])	0 [0] (0 [0])	540 (540)	1,332 (1,332)	31 (31)	
計	77,884 [1,687] (77,884 [1,687])	782 [144] (782 [144])	0 [0] (0 [0])	540 (540)	1,332 (1,332)	31 (31)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		鈴鹿大学 鈴鹿大学短期大学部 全体	
	1,331.44㎡		230席		162,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	1,745㎡		グ ラ ウ ン ド 1 面 テ ニ ス コ ー ト 3 面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	120千円	120千円	図書購入費	－千円	－千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	－千円	－千円	－千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,130千円	830千円	830千円	830千円	－千円	－千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、寄付金収入、検定料収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	鈴鹿大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定 員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度			
大学院	2	10	—	20	—	1.05	—	平成10	—	
国際学研究科	2	10	—	20	修士 (国際学)	1.05	—	平成10	三重県鈴鹿市郡山町 字西高山663番222	
国際人間科学部	4	—	—	—	—	—	—	平成6	—	
国際学科	4	—	—	—	学士 (国際学)	—	—	平成6	三重県鈴鹿市郡山町 字西高山663番222	平成27年度 学生募集停止
国際人間科学部 (新設)	4	—	—	—	—	—	—	平成27	—	
国際学科	4	—	—	—	学士 (国際学)	—	—	平成27	三重県鈴鹿市郡山町 字西高山663番222	平成29年度 学生募集停止
こども教育学部	4	50	3年次 5	210	—	0.38	平成31	平成29	—	
こども教育学科	4	50	3年次 5	210	学士 (教育学)	0.38	平成31	平成29	三重県鈴鹿市郡山町 字西高山663番222	定員変更(△30)
幼児教育学専攻	4	25	3年次 3	106	学士 (教育学)	0.37	平成31	平成29	三重県鈴鹿市郡山町 字西高山663番222	定員変更(△15)
養護教育学専攻	4	25	3年次 2	104	学士 (教育学)	0.39	平成31	平成29	三重県鈴鹿市郡山町 字西高山663番222	定員変更(△15)
国際地域学部	4	120	3年次 10	500	—	1.20	—	平成31	—	
国際地域学科	4	120	3年次 10	500	修士 (国際学)	1.20	—	平成31	三重県鈴鹿市郡山町 字西高山663番222	
大学全体	—	180	3年次 15	730	—	0.95	—	—	—	
大学 の 名 称	鈴鹿大学短期大学部									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定 員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度			
生活コミュニケーション学科	2	90	—	180	—	0.81	—	昭和41	三重県鈴鹿市郡山町 字西高山663番222	
食物栄養学専攻	2	40	—	80	短期大学士 (生活学)	0.95	—	昭和42		
こども学専攻	2	50	—	100	短期大学士 (生活学)	0.70	—	平成17		
大学全体	—	90	—	180	—	0.81	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<国際地域学部 国際地域学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	舟橋 宏代 (56) <平成31年4月> 学術修士 日本語講読Ⅰ 日本語作文Ⅰ 日本語会話Ⅰ 韓国語Ⅰ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 日本語講読Ⅱ 日本語作文Ⅱ 日本語会話Ⅱ 韓国語Ⅱ ボランティア活動Ⅲ ボランティア活動Ⅳ ビジネス日本語Ⅰ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ ビジネス日本語Ⅱ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	教授	舟橋 宏代 (56) <平成31年4月> 学術修士 日本語講読Ⅰ 日本語作文Ⅰ 日本語会話Ⅰ 韓国語Ⅰ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 日本語講読Ⅱ 日本語作文Ⅱ 日本語会話Ⅱ 韓国語Ⅱ ボランティア活動Ⅲ ボランティア活動Ⅳ ビジネス日本語Ⅰ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ ビジネス日本語Ⅱ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ
専	教授	Antonio Jean Pierre (56) <平成31年4月> 芸術学修士 オールコムニケーションⅠ オールコムニケーションⅡ 国際ビジネス英語Ⅰ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 国際ビジネス英語Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	教授	Antonio Jean Pierre (56) <平成31年4月> 芸術学修士 オールコムニケーションⅠ オールコムニケーションⅡ 国際ビジネス英語Ⅰ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 国際ビジネス英語Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ リセットイングリッシュⅠ
専	教授	松倉 信幸 (60) <平成31年4月> 修士(文学) オールコムニケーションⅠ オールコムニケーションⅡ リスニングチャレンジ 地域研究・ヨーロッパ 言語学 ベーシックライティング 非言語コミュニケーション 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ アドバンストイングリッシュⅠ アドバンストイングリッシュⅡ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	教授	松倉 信幸 (60) <平成31年4月> 修士(文学) オールコムニケーションⅠ オールコムニケーションⅡ リスニングチャレンジ 地域研究・ヨーロッパ 言語学 ベーシックライティング 非言語コミュニケーション 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ アドバンストイングリッシュⅠ アドバンストイングリッシュⅡ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論
専	教授	今光 俊介 (50) <平成31年4月> 経営管理修士 鈴鹿学 国際地域概論 国際事情Ⅰ 日本事情Ⅰ 経営学総論 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ マーケティング論 国際経営戦略論 地域ブランド・マネジメント 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	教授	今光 俊介 (50) <平成31年4月> 経営管理修士 鈴鹿学 国際地域概論 国際事情Ⅰ 日本事情Ⅰ 経営学総論 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ マーケティング論 国際経営戦略論 地域ブランド・マネジメント 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専		富本 真理子 (59) <平成31年4月> 博士(文化政策学)	専		富本 真理子 (60) <平成31年4月> 博士(文化政策学)
		鈴鹿学 国際地域概論 観光概論 国際事情Ⅱ 日本事情Ⅱ 観光まちづくり論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ インターンシップⅤ 観光と文化 モータースポーツ論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ			鈴鹿学 国際地域概論 観光概論 国際事情Ⅱ 日本事情Ⅱ 観光まちづくり論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ インターンシップⅤ 観光と文化 モータースポーツ論 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ
専	教授	木之内 秀彦 (61) <平成31年4月> 法学修士	専	教授	木之内 秀彦 (61) <平成31年4月> 法学修士
		鈴鹿学 国際地域概論 国際事情Ⅰ 日本事情Ⅰ 地域研究・アジアⅢ グローバルスタディ特殊講義 地域研究・アフリカ 国際法 政治学 日本政治外交史 平和学 国際関係論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ			鈴鹿学 国際地域概論 国際事情Ⅰ 日本事情Ⅰ 地域研究・アジアⅢ グローバルスタディ特殊講義 地域研究・アフリカ 国際法 政治学 日本政治外交史 平和学 国際関係論 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ
専	教授	細井 和彦 (54) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	細井 和彦 (54) <平成31年4月> 博士(文学)
		国際事情Ⅱ 日本事情Ⅱ 国際コミュニケーション論Ⅰ 国際コミュニケーション論Ⅱ 地域研究・アジアⅠ 地域研究・アジアⅡ 地域研究・アジアⅢ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 海外研修Ⅴ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ			国際事情Ⅱ 日本事情Ⅱ 国際コミュニケーション論Ⅰ 国際コミュニケーション論Ⅱ 地域研究・アジアⅠ 地域研究・アジアⅡ 地域研究・アジアⅢ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 海外研修Ⅴ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論
専	教授	富田 寿代 (62) <平成31年4月> 博士(工学)	専	教授	富田 寿代 (62) <平成31年4月> 博士(工学)
		1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 環境学			2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 環境学 国際地域概論
専	教授	一柳 達幸 (63) <平成31年4月> 修士(商学)	専	教授	一柳 達幸 (63) <平成31年4月> 修士(商学)
		スポーツエクササイズⅠ スポーツエクササイズⅡ 健康スポーツ演習Ⅰ スポーツとまちづくり 文化とまちづくり			スポーツエクササイズⅠ スポーツエクササイズⅡ 健康スポーツ演習Ⅰ スポーツとまちづくり 文化とまちづくり
専	教授	田中 利佳 (57) <平成31年4月> 体育学士	専	教授	田中 利佳 (57) <平成31年4月> 体育学士
		体力トレーニング論 健康スポーツ演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ ボランティア活動Ⅲ ボランティア活動Ⅳ 生涯スポーツ指導論 スポーツ心理学 災害と社会 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ			体力トレーニング論 健康スポーツ演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ ボランティア活動Ⅲ ボランティア活動Ⅳ 生涯スポーツ指導論 スポーツ心理学 災害と社会 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 日本事情Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専	准教授	原 仁志 (48) <平成31年4月> 工学修士	専	原 仁志 (48) <平成31年4月> 工学修士
		コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ マルチメディア演習 情報処理論 データベース論 ビジネスICT 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ		コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ マルチメディア演習 情報処理論 データベース論 ビジネスICT 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ
専	准教授	天野 剛至 (48) <平成31年4月> 修士(学術)	専	天野 剛至 (49) <平成31年4月> 修士(学術)
		オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ リセットイングリッシュⅠ リセットイングリッシュⅡ 文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 異文化コミュニケーションⅠ 異文化コミュニケーションⅡ 地域研究・アメリカ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ		オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ リセットイングリッシュⅠ リセットイングリッシュⅡ 文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 異文化コミュニケーションⅠ 異文化コミュニケーションⅡ 地域研究・アメリカ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論
専	准教授	高見 啓一 (40) <平成31年4月> 修士(商学・文化政策学)	専	高見 啓一 (40) <平成31年4月> 修士(商学・文化政策学)
		企業論 リテラル・マーケティング 国際地域ベンチャービジネス論 国際経営管理論 ビジネス会計 キャリア教育Ⅰ キャリア教育Ⅱ キャリア教育Ⅲ キャリア教育Ⅳ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ		企業論 リテラル・マーケティング 国際地域ベンチャービジネス論 国際経営管理論 ビジネス会計 キャリア教育Ⅰ キャリア教育Ⅱ キャリア教育Ⅲ キャリア教育Ⅳ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 国際事情Ⅰ 日本事情Ⅰ
専	准教授	郭 育仁 (38) <平成31年4月> 博士(政策科学)	専	郭 育仁 (38) <平成31年4月> 博士(政策科学)
		国内旅行業務論 モータースポーツ論 観光政策論 世界遺産論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ インターンシップⅤ おもてなし実践論 ニューツーリズム論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ		国内旅行業務論 モータースポーツ論 観光政策論 世界遺産論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ インターンシップⅤ おもてなし実践論 ニューツーリズム論 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 日本事情Ⅱ
専	講師	棧敷 まゆみ (49) <平成31年4月> 修士(人文科学)	専	棧敷 まゆみ (49) <平成31年4月> 修士(人文科学)
		日本語講読Ⅰ 日本語作文Ⅰ 日本語会話Ⅰ 日本語講読Ⅱ 日本語作文Ⅱ 日本語会話Ⅱ 多文化理解 ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ ボランティア活動Ⅲ ボランティア活動Ⅳ 資格の日本語Ⅰ 資格の日本語Ⅱ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ		日本語講読Ⅰ 日本語作文Ⅰ 日本語会話Ⅰ 日本語講読Ⅱ 日本語作文Ⅱ 日本語会話Ⅱ 多文化理解 ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ ボランティア活動Ⅲ ボランティア活動Ⅳ 資格の日本語Ⅰ 資格の日本語Ⅱ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	崔 載弦 (47) <平成31年4月> 博士(経済学)
		インバウンド観光論 観光ビジネス論 地域研究・アジアⅢ 観光サービス論 観光経済学 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ インターンシップⅤ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ
専	講師	Brian James Mohoney (44) <平成31年4月> Master of Science in Education
		オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ オーラルコミュニケーションⅢ オーラルコミュニケーションⅣ オーラルコミュニケーションⅤ オーラルコミュニケーションⅥ クリエイティブ・ライティング 実践ビジネス英語Ⅰ 実践ビジネス英語Ⅱ アカデミック・ライティング 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ
専	講師	竹田 昌平 (39) <平成31年4月> 修士(国際学)
		コミュニティ・スポーツ論 スポーツウイズム メディアスポーツ論 スポーツ起業論 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ
専	講師	小野 圭久 (53) <平成31年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツエクササイズⅠ スポーツエクササイズⅡ スポーツ社会論 地域スポーツマネジメント 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ
専	講師	佐藤 惣哉 (29) <平成31年4月> 博士(経済学)
		経済学総論 国際経営論 国際経済論 ソーシャルビジネス論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ
兼任	教授	川又 俊則 (52) <平成31年4月> 修士(文学)
兼任	教授	山路 克文 (66) <平成31年4月> 社会学修士
		社会福祉概論 地域福祉論
兼任	教授	江口(仲) 律子 (51) <平成31年4月> 修士(教育学)
		心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	崔 載弦 (47) <平成31年4月> 博士(経済学)
		インバウンド観光論 観光ビジネス論 地域研究・アジアⅢ 観光サービス論 観光経済学 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ インターンシップⅤ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 国際事情Ⅰ 日本事情Ⅰ
専	講師	Brian James Mohoney (44) <平成31年4月> Master of Science in Education
		オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ オーラルコミュニケーションⅢ オーラルコミュニケーションⅣ オーラルコミュニケーションⅤ オーラルコミュニケーションⅥ クリエイティブ・ライティング 実践ビジネス英語Ⅰ 実践ビジネス英語Ⅱ アカデミック・ライティング 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ
専	講師	竹田 昌平 (39) <平成31年4月> 修士(国際学)
		コミュニティ・スポーツ論 スポーツウイズム メディアスポーツ論 スポーツ起業論 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ
専	講師	小野 圭久 (53) <平成31年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツエクササイズⅠ スポーツエクササイズⅡ スポーツ社会論 地域スポーツマネジメント 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 日本事情Ⅰ
専	講師	佐藤 惣哉 (30) <平成31年4月> 博士(経済学)
		経済学総論 国際経営論 国際経済論 ソーシャルビジネス論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 国際事情Ⅰ 日本事情Ⅰ
兼任	教授	川又 俊則 (52) <平成31年4月> 修士(文学)
兼任	教授	山路 克文 (66) <平成31年4月> 社会学修士
		社会福祉概論 地域福祉論
兼任	教授	江口(仲) 律子 (51) <平成31年4月> 修士(教育学)
		心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中野 潤三 (64) <平成31年4月> 法学修士 哲学
兼任	教授	周 国龍 (63) <平成31年4月> 学術修士 日本語講読Ⅰ 中国語Ⅰ 日本語講読Ⅱ 日本語会話Ⅱ 日本語作文Ⅱ 中国語Ⅱ 哲学
兼任	教授	長澤 貴 (51) <平成31年4月> 修士(教育学) 人権論
兼任	助教	木村 有里 (42) <平成31年4月> 修士(音楽療法) こころの癒しと音楽 科学と芸術の間
兼任	准教授	櫻井 秀樹 (48) <平成31年4月> 修士(農学) 生物学
兼任	教授	福永 峰子 (60) <平成31年4月> 短期大学士 自然科学基礎
兼任	助教	神谷 勇毅 (39) <平成31年4月> 博士(経済情報) 数理工学
兼任	講師	陶山 宗幸 (59) <平成31年4月> 修士(法学) 日本国憲法
兼任	講師	鈴木 真由美 (46) <平成31年4月> 修士(教育学) ポルトガル語Ⅰ ポルトガル語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中野 潤三 (64) <平成31年4月> 法学修士 哲学 国際地域概論 国際事情Ⅰ 国際事情Ⅱ 日本事情Ⅱ
兼任	教授	周 国龍 (63) <平成31年4月> 学術修士 日本語講読Ⅰ 中国語Ⅰ 日本語講読Ⅱ 中国語Ⅱ 哲学
兼任	教授	長澤 貴 (51) <平成31年4月> 修士(教育学) 人権論
兼任	助教	辻(木村) 有里 (42) <平成31年4月> 修士(音楽療法) こころの癒しと音楽 科学と芸術の間
兼任	准教授	櫻井 秀樹 (48) <平成31年4月> 修士(農学) 生物学
兼任	教授	福永 峰子 (60) <平成31年4月> 短期大学士 自然科学基礎
兼任	助教	神谷 勇毅 (39) <平成31年4月> 博士(経済情報) 数理工学
兼任	講師	陶山 宗幸 (59) <平成31年4月> 修士(法学) 日本国憲法
兼任	講師	鈴木 真由美 (46) <平成31年4月> 修士(教育学) ポルトガル語Ⅰ ポルトガル語Ⅱ
兼任	講師	中谷 恵子 (64) <平成31年4月> 学士(学術) 多文化理解 日本語作文Ⅰ 日本語講読Ⅱ
兼任	講師	橋川 恵介 (33) <平成31年4月> 修士(国際学) スポーツエクササイズⅠ スポーツエクササイズⅡ
兼任	講師	大野 陽子 (44) <平成31年4月> 日本語教育修士 日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語講読Ⅰ 日本語講読Ⅱ 日本語作文Ⅰ 日本語作文Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	大本 達也 (56) <平成31年4月> 文学修士 日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語講読Ⅰ 日本語講読Ⅱ 日本語作文Ⅰ 日本語作文Ⅱ
			兼任	講師	奥村 典子 (61) <平成31年4月> 文学修士 日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語講読Ⅰ 日本語講読Ⅱ 日本語作文Ⅰ 日本語作文Ⅱ
			兼任	講師	上林 良子 (55) <平成31年4月> 文学士 日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語講読Ⅰ 日本語講読Ⅱ
			兼任	講師	安田 由紀子 (35) <平成31年4月> 修士(言語科学) 日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語講読Ⅰ 日本語講読Ⅱ
			兼任	講師	浦山 美和子 (65) <平成31年4月> 修士(教育学) 日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語講読Ⅰ 日本語講読Ⅱ 日本語作文Ⅰ 日本語作文Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・日本語会話Ⅰ、日本語講読Ⅰ、日本語作文Ⅰ、日本語会話Ⅱ、日本語講読Ⅱ、日本語作文Ⅱは、クラス編成の都合により、兼任講師7名を採用。
- ・スポーツエクササイズⅠ、スポーツエクササイズⅡは、クラス編成の都合により、兼任講師1名を採用。
- ・多文化理解は、クラス編成の都合により、兼任講師1名採用。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **限可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
10	4	6	0	20	10	4	6	0	20
(10)	(4)	(6)	(0)	(20)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
10	4	6	0	20	10	4	6	0	20
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{20}{20} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
該当なし										
合計 (D)										
就任を辞退した教員数				後任補充状況の集計 (E)						
				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
人	必修		#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
	選択		#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
	自由		#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
	計		0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
該当なし										
合計 (F)										
辞任した教員数				後任補充状況の集計 (G)						
				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
人	必修		#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
	選択		#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
	自由		#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
	計		0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
該当なし	必修		#VALUE!	科目	必修	#####	科目	必修	#####	科目
	選択		#VALUE!	科目	選択	#####	科目	選択	#####	科目
	自由		#VALUE!	科目	自由	#####	科目	自由	#####	科目
	計		#VALUE!	科目	計	#####	科目	計	#####	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
		必修	#VALUE! 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto;">該当なし</div>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (31年)	該当なし	該当なし	該当なし

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際地域学部 国際地域学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 本学では、平成30年度までは、全学的な教育の資質の維持向上を図る機関として、鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部に、自己点検・評価委員会を設置し、下部組織として、FD・SD部会を設置していたが、今年度からは、FD・SD推進委員会に改編し活動する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD・SD部会は、必要に応じて随時開催（平成30年度は10回開催）している。
- ・ 構成員は、教員5名および事務職員2名で構成している。

c 委員会の審議事項等

- ・ FD・SD活動の基本方針に関する事項
- ・ FD・SD研修会に関する事項
- ・ 教育活動の組織的改善に関する事項
- ・ 事務機能の組織的改善に関する事項
- ・ 学生の授業評価の実施に関する事項
- ・ 授業方法の改善に関する事項
- ・ 教職員の研修及び資格取得に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ FD・SD研修会（月1回程度）
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 授業評価アンケートの集計、分析および学生へのフィードバック
- ・ 教員相互による授業参観及び事後検討会

b 実施方法

- ・ 授業評価アンケート 年2回実施（前期と後期）
- ・ FD・SD研修会 毎月第3水曜日に開催
- ・ 授業参観 年2回実施（参観後、事後検討会を開催）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD・SD研修会 平成30年度は11回開催
- ・ その他研修会

三重県私立大学高専協会主催による合同FD・SD研修会に積極的に参加している。

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ・学長、副学長、学部長の役職者等で構成する「企画・運営部会議」において、FD・SD研修会の実施内容を報告している。その結果を踏まえ、活動の振り返りと課題を認識し、改善事項については、学長からの指示のもと、学部、学科、専攻単位の教員組織内で改善に向け取り組んでいる。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
- ・授業評価アンケートを実施している。
 - ・実施時期は、前期は7月、後期は1月に行っている。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- ・教員には、集計後のアンケート結果に基づき、コメントの提出を義務付けている。
 - ・学生には、アンケート集計結果と教員からのコメントをまとめ、自由に閲覧できるよう備付している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際地域学部は、既設の国際人間科学部の教員組織、施設設備を継承し、近年の地域創生の社会的な要請に応え、グローバル化する地域社会の課題を、ビジネス・イノベーション力や文化、歴史などの多角的な教養を使って、当該地域から解決策へとアプローチする人材を養成する。

社会・経済の急速なグローバル化が進む中、人口減少や大都市集中化、経済社会の二極分化が進み、地域創生が国の政策課題になる中、地方都市に所在する本学において、これらの社会的な要請に応え、これらの課題の解決に貢献する人材の養成を目指す。

これらの目標のもと、国際地域学科では、グローバルなビジネスの現場で活躍するグローバルサービス人材の育成、観光学・スポーツビジネス等の専門スキルを基にした活力のある地域づくりに資する人材の養成を行うため、地域の産業、行政、市民と連携した実学的な教育研究を展開することを目指す。

また、グローバル化する地域社会が抱える、少子高齢化、人口減少、子育て介護環境の整備、国際化、情報化、災害に強い地域づくりといった、今日的な課題を、地域から解決策へとアプローチすることに重心を移していく。そして現場主義を実践する学問として領域横断的な国際地域学の構築を目指し、国際社会と地域社会との更なる発展に寄与する。

設置の趣旨・目的は、上記のとおりである。今年度は、設置1年目であるため、年度末には達成状況の検証を行うなど、PDCAを着実に履行する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・令和元年6月末 公表(予定)

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開 <https://www.suzuka-iu.ac.jp/about/assessment.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・本学は、平成28(2016)年度に日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、大学評価の基準に「適合」としての認定を受けた。(認定期間は、7年間)
- ・今後の計画は、本学の自己点検・評価を実施するとともに、認証評価を受審する年度を検討する。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年6月30日 ）

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。